

お台場旧防波堤（鳥の島 2 島）における鳥類のモニタリング調査 冬季調査（1 月）報告書

2021 年 2 月 （株） 一般社団法人 お台場海づくり協議会

1. 調査目的

お台場海浜公園内防波堤（以下、鳥の島と記す）における鳥類の生息環境の保全について検討するために、当地における鳥類の利用状況の現況を把握するとともに、今後の経年変化を把握するための基礎資料とすることを目的とする。

2. 調査対象地域

鳥の島 2 島及び周辺水域（周辺 50 m 程度）

3. 調査期日等

調査期日等を表 1 に示す。

表 1 調査期日等

調査期日	調査時間	天候
令和 3 年 1 月 13 日（火）	8 : 00～14 : 00	快晴

4. 調査方法

各調査項目において、倍率 8～10 倍程度の双眼鏡や倍率 20～60 倍程度の望遠鏡等を必要に応じて使い分けながら調査を実施した。また、上陸後に実施する（2）～（4）の調査については、調査精度と定量性を確保するため、2 島に調査員を 1 名ずつ配置し、2 島同時に実施した。また、補足調査として（5）の調査を行った。

（1） 船上センサス

2 島の 50m 程度沖を船舶により定速で周回しながら、2 島及び周辺を観察し、目視または鳴き声等で確認された鳥類の種名、個体数、行動等を記録した。

（2） ラインセンサス

2 島の岸沿いを縦断するセンサスルートを設定し、時速 1～2km 程度の速度で歩きながら目視または鳴き声等で確認された鳥類の種名、個体数、行動等を記録した。センサスルートは各島に 1 本を設定し、観察範囲は片側 50m（両側 100m）とした。

(3) 定点観察調査

2 島の各 2 点に眺望のよい定点を設定し、目視または鳴き声等で確認された鳥類の種名、個体数、行動等を記録した。観察半径は 50m 程度、調査時間は各 30 分間とした。

(4) 任意観察調査

2 島を任意に踏査し、目視または鳴き声等で確認された鳥類の種名、個体数、行動等を記録した。

(5) その他

- 自動撮影カメラによる調査

第 5 回の秋季調査にて、ホンダタヌキのため糞が確認されたことから、島内の生息状況を確認するため、第 6 回秋季調査から冬季調査までの 86 日間、西島に自動撮影カメラを 1 台設置した。

- その他の生き物の記録

鳥類調査時に特記すべき生き物が確認された場合は、種名、個体数、行動等を記録した。



写真 1(1) 各調査手法における調査風景



写真 1(2) 各調査手法における調査風景



図 1 調査地点

5. 評価方法

(1) 調査回の定義

各調査結果をとりまとめ、過去の調査と比較をすることで、今回の調査結果の評価をした。調査回の定義を表 2 に示す。今回は第 6 回の冬季調査にあたる。

表 2 調査回の定義

調査回	調査時期
第 1 回	平成 27 年夏季～平成 28 年春季
第 2 回	平成 28 年秋季～平成 29 年夏季
第 3 回	平成 29 年秋季～平成 30 年夏季
第 4 回	平成 30 年秋季～令和元年夏季
第 5 回	令和元年秋季～令和 2 年夏季
第 6 回	令和 2 年秋季～令和 3 年夏季（予定）

(2) 重要種の選定根拠

重要種の選定根拠を表 3 に示す。このうち、いずれかに該当する種を重要種として記録した。

表 3 重要種の選定根拠

No.	選定資料	カテゴリー
①	「文化財保護法」(昭和 25 年、法律第 214 号)	特天:特別天然記念物 天 :天然記念物
②	「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」 (平成 4 年、法律第 75 号)※以下、種の保存法と記す	国内:国内希少野生動植物種 国際:国際希少野生動植物種
③	「環境省レッドリスト 2020 鳥類」(令和 2 年、環境省) ※以下、環境省 RL と記す	EX:絶滅 EW:野生絶滅 CR+EN:絶滅危惧Ⅰ類 CR:絶滅危惧ⅠA 類 EN:絶滅危惧ⅠB 類 VU:絶滅危惧Ⅱ類 NT:準絶滅危惧 DD:情報不足 LP:絶滅のおそれのある地域個体群
④	レッドデータブック東京 2013(区部)鳥類 (平成 25 年、東京都)※以下、東京都 RDB と記す	EX:絶滅 EW:野生絶滅 CR+EN:絶滅危惧Ⅰ類 CR:絶滅危惧ⅠA 類 EN:絶滅危惧ⅠB 類 VU:絶滅危惧Ⅱ類 NT:準絶滅危惧 DD:情報不足 LP:絶滅のおそれのある地域個体群 *:留意種

6. 調査結果

(1) 現地調査結果

鳥類確認種目録を表 4、船上センサス結果を表 5、ラインセンサス結果を表 6、定点観察結果を表 7 に示す。

- 現地調査の結果、9 目 20 科 32 種が確認された（表 4）。
- 確認種のおよそ半数は水域やその周辺に生息する鳥類であり、ホシハジロやアオサギ、ウミネコ等 16 種が確認された。島内では、シジュウカラやウグイス、シロハラ等の森林やその周辺に生息する鳥類が 11 種確認されたほか、都市部で見られるスズメやムクドリが 2 種、様々な環境で見られるキジバトやハシブトガラス等の鳥類が 3 種確認された（表 4）。
- 渡り区分別にみると、カワウやシジュウカラ等の留鳥（ある地域で一年中見られる種）が最も多く、次いでホシハジロやハジロカイツブリ等の冬鳥（ある地域で冬に見られる種）が確認された。
- 重要種はスズガモ、ウミアイサ、カンムリカイツブリ、オオバン、イソシギ、トビ、ノスリ、イソヒヨドリの合計 8 種が確認された（表 4）。島内では、護岸で採餌や休息をするイソシギ、イソヒヨドリが、広葉樹林周辺では、上空で採餌をするトビが確認された。また、島周辺の海域では、休息や遊泳をするスズガモやウミアイサ、カンムリカイツブリ、オオバンが、上空を通過するノスリが確認された。
- 外来種は確認されなかった（表 4）。
- 確認個体数が特に多かった種はカワウであった。本種は、船上センサスでにおいて島で合計 92 個体（表 5）、ラインセンサスでは合計 72 個体（表 6）が確認され、優占度は東島で 73%、西島で 26%を占め、定点観察調査では合計 102 個体（表 7）が確認された。落葉広葉樹にとまり休息する個体や、上空を飛翔する様子が確認された。また、巣上にとまる個体も確認され、繁殖期に入ったと推定される。
- カワウに次いで確認個体数が多かった種はスズガモであった。本種は、船上センサスにおいて島で合計 81 個体（表 5）が確認され、海域を遊泳、休息する個体が確認された。
- 広葉樹や高茎草本で採餌するシメやシジュウカラ、カワラヒワが、護岸では採餌するイソシギやハクセキレイが確認された。また、海域上空で鳥の死骸を運ぶトビが確認された。

(2) 過去調査との比較

それぞれの前回調査（冬季）との比較について、表 8 に確認種、表 9 に船上センサス結果、表 10 にラインセンサス結果、表 11 に定点観察結果、表 12 にこれまでの鳥類確認種目録を示す。

- 前回調査（冬季）との確認種数の比較は、第 5 回では東島で 29 種、西島で 24 種、合計 33 種、第 6 回では東島で 28 種、西島で 24 種、合計 32 種であった（表 8）。第 5 回及び 6 回で共通して確認された種は、28 種と 8 割以上に達し、鳥類相に大きな変化はなかった。
- 第 5 回で確認されず第 6 回で確認された種はミミカイツブリ、トビ、シロハラ、シメの 4 種であり、第 5 回で確認され第 6 回で確認されなかった種はオカヨシガモ、ヒドリガモ、オナガガモ、ハイタカ、タヒバリの 5 種であった（表 8）。
- 第 5 回より第 6 回で個体数が多く優占度が高い種はカワウであった（表 9、10、11）。今回調査では、広葉樹で休息する個体が最も多く、次いで上空を通過する個体が多かった。
- 第 5 回より第 6 回でカモ類の種数が減少した（表 8、9、10）。第 6 回ではカモ類の多くが調査範囲外のお台場海浜公園側で休息していたため記録されなかったと考えられる。

(3) その他

その他方法（自動撮影カメラ設置による調査及び鳥類調査時の他項目の調査）による結果について鳥類 4 目 5 科 5 種、哺乳類 1 目 1 科 1 種が確認された。

- 自動撮影カメラの画像を解析した結果、鳥類ではキジバト、ヤマシギ、オオタカ、ハシブトガラス、シジュウカラの 5 種、哺乳類ではドブネズミ 1 種が確認された。
- 自動撮影カメラ調査において、ホンドタヌキは撮影されなかった。秋季調査においてもホンドタヌキの新しいため糞は確認されなかったことから、2019 年の秋季に一時的に西島を利用していたものと考えられる。
- 重要種として、ヤマシギ（東京都レッドデータブック：絶滅危惧Ⅱ類）が 12 月 18 日～1 月 9 日に 3 回撮影された。また、オオタカ（環境省レッドリスト：準絶滅危惧、東京都レッドデータブック：絶滅危惧ⅠA 類）が地面にとまり、餌（内容不明）を持つ様子等が 11 月 1 日～12 月 9 日に 4 回撮影され、羽衣の特徴から 2 個体が西島を利用していたと考えられる。
- 鳥類調査時において鳥類以外の特記すべき生物種は確認されなかった。

表 4 鳥類確認種目録

No.	目名	科名	種名	調査時期		重要種選定基準			
				冬季(1月)		①	②	③	④
				東島	西島				
1	カモ	カモ	カルガモ	○					
2			ホシハジロ	○					
3			スズガモ	○	○				*
4			ウミアイサ		○				DD
5	カイツブリ	カイツブリ	カンムリカイツブリ	○	○				*
6			ミミカイツブリ	○					
7			ハジロカイツブリ	○	○				
8	ハト	ハト	キジバト	○					
9	カツオドリ	ウ	カワウ	○	○				
10	ペリカン	サギ	アオサギ	○					
11	ツル	クイナ	オオバン	○	○				VU
12	チドリ	シギ	イソシギ	○	○				VU
13		カモメ	ユリカモメ	○	○				
14			ウミネコ	○	○				
15			セグロカモメ	○	○				
16	タカ	タカ	トビ	○	○				NT
17			ノスリ	○	○				EN
18	スズメ	カラス	ハシブトガラス	○	○				
19		シジュウカラ	シジュウカラ	○	○				
20		ヒヨドリ	ヒヨドリ	○	○				
21		ウグイス	ウグイス	○	○				
22		メジロ	メジロ	○					
23		ムクドリ	ムクドリ		○				
24		ヒタキ	シロハラ		○				
25			ツグミ	○	○				
26			ジョウビタキ	○	○				
27			イソヒヨドリ		○				DD
28		スズメ	スズメ	○					
29		セキレイ	ハクセキレイ	○	○				
30		アトリ	カワラヒワ	○	○				
31			シメ	○					
32		ホオジロ	アオジ	○	○				
合計	9 目	20 科	32 種	28 種	24 種	0 種	0 種	0 種	8 種

注 1. 分類、配列等は原則として「日本鳥類目録 改訂第 7 版」(平成 24 年、日本鳥学会)に準拠した。

注 2. 重要種選定基準は表 3 に従った。

表 5 船上センサス結果

No.	目名	科名	種名	調査時期		合計 個体数
				冬季(1月)		
				東島	西島	
1	カモ	カモ	スズガモ	80	1	81
2			ウミアイサ	0	3	3
3	カイツブリ	カイツブリ	カンムリカイツブリ	0	1	1
4			ハジロカイツブリ	0	3	3
5	ハト	ハト	キジバト	1	0	1
6	カツオドリ	ウ	カワウ	65	27	92
7	ペリカン	サギ	アオサギ	3	0	3
8	ツル	クイナ	オオバン	2	10	12
9	チドリ	シギ	イソシギ	1	3	4
10		カモメ	セグロカモメ	0	2	2
11	スズメ	カラス	ハシブトガラス	3	0	3
12		ヒヨドリ	ヒヨドリ	8	9	17
13		セキレイ	ハクセキレイ	1	2	3
合計	8 目	11 科	13 種	164	61	225
				9 種	10 種	13 種

注 1. 分類、配列等は原則として「日本鳥類目録 改訂第 7 版」(平成 24 年、日本鳥学会)に準拠した。

表 6 ラインセンサス結果

No.	目名	科名	種名	調査時期				合計 個体数
				冬季(1月)				
				L1(東島)		L2(西島)		
				個体数	優占度	個体数	優占度	
1	カイツブリ	カイツブリ	ハジロカイツブリ	1	1%	0	0%	1
2	カツオドリ	ウ	カワウ	64	73%	8	26%	72
3	ツル	クイナ	オオバン	1	1%	4	13%	5
4	チドリ	シギ	イソシギ	0	0%	4	13%	4
5	スズメ	カラス	ハシブトガラス	0	0%	1	3%	1
6		シジュウカラ	シジュウカラ	2	2%	0	0%	2
7		ヒヨドリ	ヒヨドリ	4	5%	5	16%	9
8		ウグイス	ウグイス	1	1%	0	0%	1
9		ヒタキ	ツグミ	0	0%	1	3%	1
10			ジョウビタキ	1	1%	1	3%	2
11			イソヒヨドリ	0	0%	1	3%	1
12		スズメ	スズメ	10	11%	0	0%	10
13		セキレイ	ハクセキレイ	1	1%	4	13%	5
14		アトリ	シメ	1	1%	0	0%	1
15		ホオジロ	アオジ	2	2%	2	6%	4
合計	5 目	13 科	15 種	88	100%	31	100%	119
				11 種		10 種		15 種

注 1. 分類、配列等は原則として「日本鳥類目録 改訂第 7 版」(平成 24 年、日本鳥学会)に準拠した。

表 7 定点観察結果

No.	目名	科名	種名	調査時期								合計 個体数
				冬季(1月)								
				東島				西島				
				P1		P2		P3		P4		
				個 体 数	優 占 度	個 体 数	優 占 度	個 体 数	優 占 度	個 体 数	優 占 度	
1	カイツブリ	カイツブリ	カンムリカイツブリ	0	0%	1	2%	2	4%	0	0%	3
2			ハジロカイツブリ	0	0%	4	7%	3	7%	0	0%	7
3	カツオドリ	ウ	カワウ	22	56%	40	69%	21	46%	19	66%	102
4	ツル	クイナ	オオバン	1	3%	0	0%	3	7%	0	0%	4
5	チドリ	シギ	イソシギ	0	0%	1	2%	3	7%	0	0%	4
6		カモメ	ユリカモメ	1	3%	0	0%	2	4%	0	0%	3
7			ウミネコ	0	0%	0	0%	2	4%	0	0%	2
8			セグロカモメ	1	3%	0	0%	0	0%	0	0%	1
9	タカ	タカ	トビ	1	3%	0	0%	0	0%	1	3%	2
10			ノスリ	0	0%	0	0%	0	0%	1	3%	1
11	スズメ	カラス	ハシブトガラス	0	0%	1	2%	1	2%	1	3%	3
12		シジュウカラ	シジュウカラ	4	10%	0	0%	0	0%	0	0%	4
13		ヒヨドリ	ヒヨドリ	6	15%	8	14%	9	20%	6	21%	29
14		ウグイス	ウグイス	1	3%	0	0%	0	0%	1	3%	2
15		メジロ	メジロ	0	0%	2	3%	0	0%	0	0%	2
16		ヒタキ	ツグミ	1	3%	0	0%	0	0%	0	0%	1
17		セキレイ	ハクセキレイ	0	0%	1	2%	0	0%	0	0%	1
18		アトリ	カワラヒワ	1	3%	0	0%	0	0%	0	0%	1
19		ホオジロ	アオジ	1	3%	4	7%	1	2%	1	3%	7
合計	6 目	15 科	19 種	40	100%	62	100%	47	100%	30	100%	179
				11 種		9 種		10 種		7 種		19 種

注 1. 分類、配列等は原則として「日本鳥類目録 改訂第 7 版」(平成 24 年、日本鳥学会)に準拠した。

表 8 前回調査結果との比較：確認種（冬季）

No.	種名	調査時期			
		第 5 回 (R1～R2)		第 6 回 (R2～R3)	
		冬季(2 月)		冬季(1 月)	
		東島	西島	東島	西島
1	オカヨシガモ	○			
2	ヒドリガモ	○			
3	カルガモ	○	○	○	
4	オナガガモ	○			
5	ホシハジロ	○		○	
6	スズガモ	○	○	○	○
7	ウミアイサ	○			○
8	カンムリカイツブリ	○	○	○	○
9	ミミカイツブリ			○	
10	ハジロカイツブリ	○	○	○	○
11	キジバト		○	○	
12	カワウ	○	○	○	○
13	アオサギ	○	○	○	
14	オオバン	○	○	○	○
15	イソシギ	○	○	○	○
16	ユリカモメ	○	○	○	○
17	ウミネコ		○	○	○
18	セグロカモメ	○	○	○	○
19	トビ			○	○
20	ハイタカ	○			
21	ノスリ	○		○	○
22	ハシブトガラス	○	○	○	○
23	シジュウカラ	○	○	○	○
24	ヒヨドリ	○	○	○	○
25	ウグイス	○	○	○	○
26	メジロ	○	○	○	
27	ムクドリ	○	○		○
28	シロハラ				○
29	ツグミ	○	○	○	○
30	ジョウビタキ	○	○	○	○
31	イソヒヨドリ		○		○
32	スズメ	○		○	
33	ハクセキレイ	○	○	○	○
34	タヒバリ		○		
35	カワラヒワ	○		○	○
36	シメ			○	
37	アオジ	○	○	○	○
合計	37 種	29 種	24 種	28 種	24 種
		33 種		32 種	

表 9 前回調査との比較：船上センサス結果（冬季）

No.	種名	調査時期			
		第 5 回 (R1～R2)		第 6 回 (R2～R3)	
		冬季(2 月)		冬季(1 月)	
		東島	西島	東島	西島
1	ヒドリガモ	2	0	0	0
2	カルガモ	3	0	0	0
3	ホシハジロ	1	0	0	0
4	スズガモ	120	5	80	1
5	ウミアイサ	0	0	0	3
6	カンムリカイツブリ	1	3	0	1
7	ハジロカイツブリ	0	3	0	3
8	キジバト	0	1	1	0
9	カワウ	15	15	65	27
10	アオサギ	0	0	3	0
11	オオバン	3	1	2	10
12	イソシギ	1	0	1	3
13	ユリカモメ	0	1	0	0
14	セグロカモメ	0	1	0	2
15	ハシブトガラス	3	6	3	0
16	シジュウカラ	0	1	0	0
17	ヒヨドリ	7	3	8	9
18	ツグミ	1	0	0	0
19	ハクセキレイ	2	1	1	2
20	タヒバリ	0	1	0	0
合計個体数		159	42	164	61
合計島別種数		12 種	13 種	9 種	10 種
合計種数		18 種		13 種	

表 10 前回調査との比較：ラインセンサス結果（冬季）

No.	種名	調査時期							
		第 5 回 (R1～R2)				第 6 回 (R2～R3)			
		冬季 (2 月)				冬季 (1 月)			
		L1 (東島)		L2 (西島)		L1 (東島)		L2 (西島)	
		個体数	優占度	個体数	優占度	個体数	優占度	個体数	優占度
1	カルガモ	0	0%	6	5%	0	0%	0	0%
2	スズガモ	0	0%	53	40%	0	0%	0	0%
3	カンムリカイツブリ	0	0%	2	2%	0	0%	0	0%
4	ハジロカイツブリ	0	0%	0	0%	1	1%	0	0%
5	キジバト	0	0%	1	1%	0	0%	0	0%
6	カワウ	11	26%	26	20%	64	73%	8	26%
7	アオサギ	2	5%	1	1%	0	0%	0	0%
8	オオバン	0	0%	3	2%	1	1%	4	13%
9	イソシギ	1	2%	1	1%	0	0%	4	13%
10	ユリカモメ	0	0%	5	4%	0	0%	0	0%
11	セグロカモメ	0	0%	1	1%	0	0%	0	0%
12	ノスリ	1	2%	0	0%	0	0%	0	0%
13	ハシブトガラス	5	12%	2	2%	0	0%	1	3%
14	シジュウカラ	1	2%	2	2%	2	2%	0	0%
15	ヒヨドリ	5	12%	27	20%	4	5%	5	16%
16	ウグイス	1	2%	0	0%	1	1%	0	0%
17	メジロ	1	2%	0	0%	0	0%	0	0%
18	ムクドリ	6	14%	0	0%	0	0%	0	0%
19	ツグミ	2	5%	0	0%	0	0%	1	3%
20	ジョウビタキ	0	0%	0	0%	1	1%	1	3%
21	イソヒヨドリ	0	0%	1	1%	0	0%	1	3%
22	スズメ	4	10%	0	0%	10	11%	0	0%
23	ハクセキレイ	0	0%	1	1%	1	1%	4	13%
24	シメ	0	0%	0	0%	1	1%	0	0%
25	アオジ	2	5%	1	1%	2	2%	2	6%
合計	25 種	42	100%	133	100%	88	100%	31	100%
		13 種		16 種		11 種		10 種	

表 11 前回調査との比較：定点観察結果（冬季）

No.	種名	調査時期															
		第 5 回(R1～R2)								第 6 回(R2～R3)							
		冬季(2 月)								冬季(1 月)							
		東 島				西 島				東 島				西 島			
		P1		P2		P3		P4		P1		P2		P3		P4	
		個 体 数	優 占 度	個 体 数	優 占 度	個 体 数	優 占 度	個 体 数	優 占 度	個 体 数	優 占 度	個 体 数	優 占 度	個 体 数	優 占 度	個 体 数	優 占 度
1	ヒドリガモ	0	0%	2	4%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
2	カルガモ	0	0%	7	12%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
3	オナガガモ	0	0%	1	2%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
4	ホシハジロ	1	4%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
5	スズガモ	0	0%	6	11%	4	6%	42	65%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
6	ウミアイサ	0	0%	2	4%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
7	カンムリカイツ ブリ	0	0%	1	2%	2	3%	1	2%	0	0%	1	2%	2	4%	0	0%
8	ハジロカイツブ リ	0	0%	3	5%	3	4%	0	0%	0	0%	4	6%	3	6%	0	0%
9	キジバト	0	0%	0	0%	1	1%	1	2%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
10	カワウ	17	71%	1	2%	13	19%	10	15%	22	55%	40	65%	21	45%	19	63%
11	オオバン	0	0%	0	0%	0	0%	3	5%	1	3%	0	0%	3	6%	0	0%
12	イソシギ	0	0%	2	4%	0	0%	1	2%	0	0%	1	2%	3	6%	0	0%
13	ユリカモメ	0	0%	1	2%	4	6%	3	5%	1	3%	0	0%	2	4%	0	0%
14	ウミネコ	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	2	4%	0	0%
15	セグロカモメ	1	4%	0	0%	1	1%	0	0%	1	3%	0	0%	0	0%	0	0%
16	トビ	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	3%	0	0%	0	0%	1	3%
17	ノスリ	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	3%
18	ハシブトガラス	2	8%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	2%	1	2%	1	3%
19	シジュウカラ	0	0%	1	2%	2	3%	0	0%	4	10%	0	0%	0	0%	0	0%
20	ヒヨドリ	2	8%	22	39%	30	45%	1	2%	6	15%	8	13%	9	19%	6	20%
21	ウグイス	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	3%	0	0%	0	0%	1	3%
22	メジロ	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	2	3%	0	0%	0	0%
23	ムクドリ	0	0%	0	0%	3	4%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
24	ツグミ	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	3%	0	0%	0	0%	0	0%
25	イソヒヨドリ	0		0	0%	0	0%	1	2%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
26	ハクセキレイ	1	4%	8	14%	3	4%	2	3%	0	0%	1	2%	0	0%	0	0%
27	カワラヒフ	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	3%	0	0%	0	0%	0	0%
28	アオジ	0	0%	0	0%	1	1%	0	0%	1	3%	4	6%	1	2%	1	3%
合計	28 種	24	100%	57	100%	67	100%	65	100%	40	100%	62	100%	47	100%	30	100%
		6 種		13 種		12 種		10 種		11 種		9 種		10 種		7 種	

表 12 (1) 鳥類確認種目録 (第 1 回～第 6 回)

No.	種名	調査時期											
		第 1 回 (H27 夏～ H28 春)		第 2 回 (H28 秋～ H29 夏)		第 3 回 (H29 秋～ H30 夏)		第 4 回 (H30 秋～ H31/R1 夏)		第 5 回 (R1 秋～R2 夏)		第 6 回 (R2 秋～R3 冬)	
		東島	西島	東島	西島	東島	西島	東島	西島	東島	西島	東島	西島
1	オカヨシガモ				○		○		○	○			
2	ヒドリガモ									○	○		
3	マガモ		○	○	○		○	○	○				
4	カルガモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	ハシビロガモ												○
6	オナガガモ				○	○	○			○			
7	コガモ							○					
8	ホシハジロ						○	○		○	○	○	
9	キンクロハジロ										○		
10	スズガモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	ウミアイサ		○					○	○	○			○
12	カンムリカイツブリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13	ミミカイツブリ			○								○	
14	ハジロカイツブリ	○	○	○	○				○	○	○	○	○
15	キジバト	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
16	カワウ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
17	ゴイサギ					○							
18	ササゴイ		○										
19	アオサギ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20	ダイサギ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
21	チュウサギ									○			
22	コサギ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
23	オオバン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
24	カッコウ科の一種											○	
25	コチドリ	○	○		○	○	○			○	○		
-	ヤマシギ												●
26	タシギ								○				
27	キアシシギ									○			
28	イソシギ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
29	キョウジョシギ					○	○						
30	ユリカモメ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
31	ウミネコ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
32	カモメ	○	○			○							
33	セグロカモメ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
34	オオセグロカモメ	○	○	○	○	○	○					○	
35	コアジサシ	○	○	○	○	○	○		○				
36	ミサゴ	○		○			○		○		○	○	
37	ハチクマ	○											
38	トビ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
39	ハイタカ		○		○					○			
40	オオタカ	○		○	○	○	○		○		●		●

表 12 (2) 鳥類確認種目録 (第 1 回～第 6 回)

No.	種名	調査時期											
		第 1 回 (H27 夏～ H28 春)		第 2 回 (H28 秋～ H29 夏)		第 3 回 (H29 秋～ H30 夏)		第 4 回 (H30 秋～ H31/R1 夏)		第 5 回 (R1 秋～R2 夏)		第 6 回 (R2 秋～R3 秋)	
		東島	西島	東島	西島	東島	西島	東島	西島	東島	西島	東島	西島
41	ノスリ		○	○	○	○		○		○		○	○
42	カワセミ			○			○			○			
43	チョウゲンボウ		○				○	○					
44	ハヤブサ			○	○	○	○	○	○				
45	モズ			○	○	○	○	○	○	○	○		
46	カケス				○								
47	オナガ			○	○	○	○			○			
48	ハシブトガラス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
49	シジュウカラ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
50	ヒバリ						○						
51	ツバメ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
52	ヒヨドリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
53	ウグイス	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
54	オオムシクイ								○				○
55	メジロ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
56	オオヨシキリ			○		○				○	○		
57	ムクドリ	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
58	コムクドリ				○	○							
59	シロハラ	○	○	○	○						●		○
60	アカハラ	○			○			○			○		
61	ツグミ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
62	ジョウビタキ	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
63	イソヒヨドリ	○	○		○		○		○		○		○
64	キビタキ	○				○							
65	スズメ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
66	キセキレイ			○									
67	ハクセキレイ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
68	セグロセキレイ				○								○
69	タヒバリ						○				○		
70	カワラヒワ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
71	シメ							○				○	
72	ホオジロ	○		○	○			○		○			
73	アオジ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
74	オオジュリン			○						○			
75	ドバト	○	○					○			○		
合計	75 種	41 種	40 種	44 種	47 種	42 種	45 種	38 種	38 種	44 種	39 種	32 種	29 種
		47 種		53 種		51 種		47 種		50 種		38 種	

注 1. ●:自動撮影カメラのみで確認された種を示す。他調査回とは調査手法が異なるため、種数に計上しなかった。

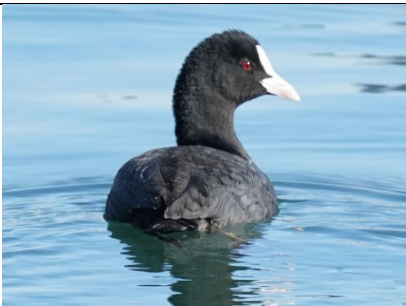
 スズガモ(重要種)	 ウミアイサ(重要種)
 カンムリカイツブリ(重要種)	 ハジロカイツブリ
 カワウ	 アオサギ
 オオバン(重要種)	 イソシギ(重要種)
 セグロカモメ	 トビ(重要種)

写真 2 (1) 鳥の島で確認された主な鳥類

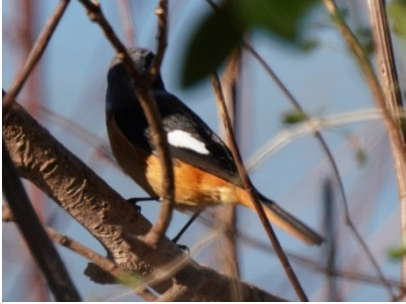
 ノスリ(重要種)	 ヒヨドリ
 メジロ	 ツグミ
 ジョウビタキ	 スズメ
 ハクセキレイ	 カワラヒワ
 シメ	 アオジ

写真 2 (2) 鳥の島で確認された主な鳥類

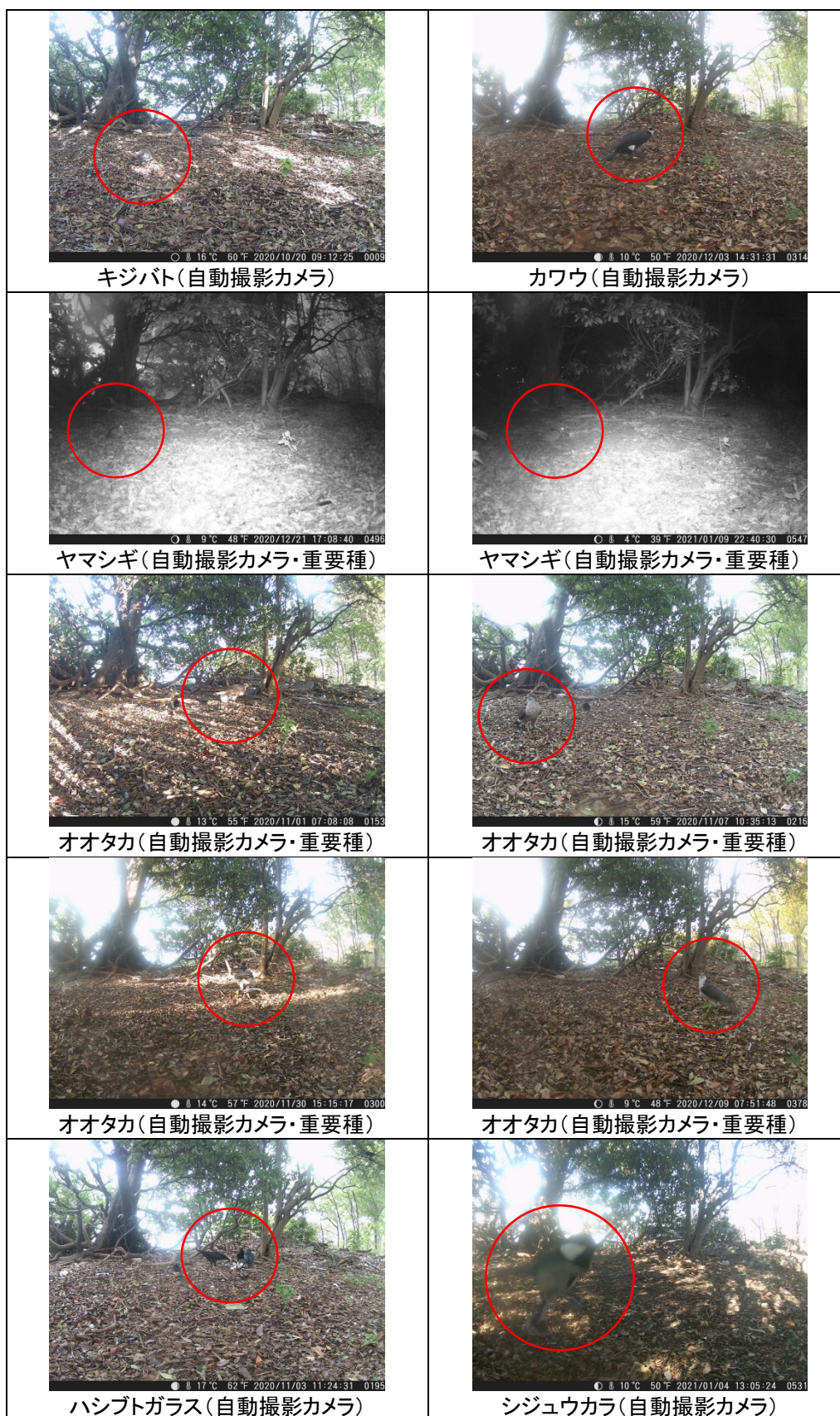


写真 3(1) 自動撮影カメラで確認された生き物



写真 3(2) 自動撮影カメラで確認された生き物